

(様式2)



2021年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

I	スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II	マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III	スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV	日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V	スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 静岡県 】

学校名【 静岡県立静岡南部特別支援学校 】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・ V (複数選択可)	
2 実施対象者 (学年・人数)	学校の実施：小学1年1人 2年1人 5年2人 6年5人 中学1年1人 2年5人 3年3人 合計18人	
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (保健体育) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()	
4 目標 (ねらい)	パラリンピアンとの交流を通して、児童生徒がボッチャへ親しみ、スポーツの意義や価値等に対する理解を深める。	
5 取組内容	<p>新型コロナ感染症の増加により、まん延防止等重点措置区域となったため、ZOOMでの交流会となり、「夢かなえたボッチャとの出会い」と題して講演をしていただいた。</p> <p>事前学習では、図工・作業学習で杉村選手にプレゼントを作った。当日は、手渡すことができないため、紹介のみとし、郵送した。杉村選手への質問を考え、質問が伝わりやすいように画用紙に書いて準備をした。</p> <p>講演の最後に杉村選手から、金メダルの披露があった。実物を見たり触ったりすることはできなかったが、「母校に凱旋できる日には、金メダルを持参したい。」との話があった。</p> <p>ZOOMでの交流会後、ミニボッチャ大会を実施した。講演会でボッチャを楽しむことや協力し合う気持ち、チームワークが大事であることなどのアドバイスから、児童生徒が今まで以上に、ボッチャに対する取り組みに熱が入っていた。ミニボッチャ大会後に児童生徒からは、「楽しかった。」「また、やりたい。」という声が聞かれていた。</p>	
	 講演の様子	 杉村選手への質問

		
		
<p>6 主な成果</p>	<p>事前学習の段階から、児童生徒が杉村選手と交流することを楽しみにしていて、ボッチャの技についてなどの質問を考えることができた。ボッチャは校内での体育的行事の種目になっていて、児童生徒に親しみのある競技である。今回の講演でボッチャの魅力や楽しさ、仕事と競技活動の両立、家族の協力や周りの人の支援の大切さについての話により、ほとんどの児童生徒がボッチャをより好きになったことが感じ取れた。</p>	
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>本校では、体育的行事や交流会などでボッチャに取り組んでいる。本校の卒業生の杉村選手が東京パラリンピックに出場し、活躍したことで、ボッチャへの関心が高まっていた。今回、杉村選手が母校凱旋を兼ねて、児童生徒への講演会や交流ボッチャ大会の事業計画をした。ボッチャに関する内容だけでなく、将来について考える機会として、卒業後の生活や仕事、仕事とボッチャとの両立についてなど、後輩に向けたアドバイスを含めた講演会の内容を依頼した。</p>	
<p>8主な課題等</p>	<p>本校では、施設と併設している学校であることから、感染症の状況によって、対面での交流に制限が多く、中止となる場合がある。そのため、リモートでの対応を併用して計画する必要がある。</p>	
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>来年度は、児童生徒数が今年度よりも減少し重度化の傾向にあるため、実施内容を重度の児童生徒にも伝わる活動内容を考える必要がある。校内で来年度以降の実施の仕方について検討する必要がある。</p>	

児童生徒のお礼の言葉

プレゼント紹介

金メダル披露

杉村選手と記念撮影